

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2013年(平成25年)

1月10日 木曜日

編集手帳

夫婦の会話にもちよっと
 した「神経戦」はある。
 何年か前に短歌の雑誌で
 読み、書き留めた楽しい
 歌がある。△美女たちを
 評するわれは隠れ藝に美
 男の評もまぜて妻に言ふ△(大
 松達知)◆昔の日本映画でいえ
 ば、森繁久弥さん演じる夫が、
 妻役・淡島千景さんの顔色をう
 かがっている場面あたりが似合
 いそうである。夫人が留守とな
 れば、神経の緊張も解ける。謹
 敵な仮面を脱ぎ捨て、ついで
 らけてしまふ…そういう人もい
 るだろう◆人間であれば、誰し
 も多少の陰日向があるのは仕方
 ない。いや、人間に限らないよ
 うである◆ウエスのオスはミス
 と一緒にいると、子供の体をな
 めるなどの子育てをする。ミス
 のにおいや声のしなやかな育箱に
 移すと、子育てをしなくなった
 と、金沢大学の研究者トムが美
 験結果を発表した。マウス男で
 は夫人の目があることで、「イ
 クメン」(積極的に育児に参加
 する男性)に陰日向が生じるの
 かしら…◆児童文学に描かれる
 ような、立派でよくできた動物
 ばかりでも肩が凝る。上司の見
 ていないところで居眠りをする
 困ったザラリアン氏のような
 君も、いていざ。マウス君。

2013. 1. 10